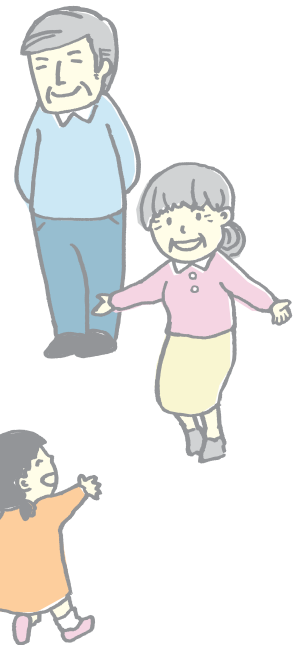




ライフプランアドバイザー

LPA

の井戸山本三枝



わが家のプレセカンドライフ

自分が年をとるなんて、考えた事もありませんでした。いや、気合いを入れて暮らせば年なんてとらないって思っていました。しかし、現実はそのようなことがあるはずもなく、わが家もあと数年で夫が定年を迎え、セカンドライフが始まります。

そのセカンドライフに対して、心がけていることがあります。それは、1ヶ月の生活費を、現役の8割に抑えること。当然、年金はお給料より少ないです。セカンドライフ先輩の意見によると、定年でいきなり支出を抑えた暮らしを始めるのは大変なので、定年の数年前から暮らしの間口を狭くしておくと、年金生活にスムーズに移行できるそうです。

とはいえ残念な事に、8割の暮らしはなかなかうまくいきません。なぜだろう？ 思い当たったのは、孫への出費です。先日もお値打ちになったキャラクター商品を見かけ、つい買ってしまいました。孫の笑顔を見る喜びに、ついつい財布の紐はゆるんでしまいます。

そこで、孫への出費について、我が家なりのルールをつくってみました。

ルール

①

孫への出費は毎月額が決まっているので、予備費からの支出にする。もちろん予備費に関しても、きちんと予算を立てる。

ルール

②

入学、入園、誕生日など節目のお祝いの金額はいくらずで、何歳まであげたいのかを決める。

ルール

③

孫のお祝い金は、毎月積み立てをして用意をする。具体的に、何年後に何のお祝いが必要になるかを確認し、ライフプランの項目に、孫の成長も記入する。

孫への出費をコントロールできれば、「8割の暮らし」も何とか実現しそうです。金銭面だけではなく、精神面でも豊かなセカンドライフをめざし、あと数年、プレセカンドライフを楽しもうと考えています。

LPA 石田明美

ライフプランって何？と思われた方、ライフプランに関心がある方、LPAの学習会で詳しく学べます。下記までお問い合わせください。

コープぎふ LPA の会事務局 TEL 058-370-6713 (月～金曜日／9:00～17:00)



湿度が高いこの時期、特に気になる下駄箱の臭い。扉を開ける度に、むわっと臭って困っている、なんてことはありませんか。そんな時は、広口ビンに重曹を入れ、使い古しのストッキングと輪ゴムで蓋をし、下駄箱の中に入れてみましょう。エッセンシャルオイルを数滴たらせば、香り付きの脱臭剤に。2、3ヶ月を目安に交換しますが、古くなった重曹は掃除に再利用でき、経済的です。下駄箱の臭いを防止するには、こまめに風を通すこと。脱いだ靴は、きつちりと乾燥させ、汚れを落としてから収納するように心がけることです。それでも湿気が気になる場合は、シリカゲルで強力湿気取りをしてみてもいい。シリカゲルはドラッグストアやホームセンターなどでも購入できますが、お菓子の包装に入っている乾燥剤をストックしたもので構いません。

暮らしの裏ワザ

不快な臭いに「バイバイ」